



## 平成28年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ  
コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 宇治田 明史

TEL 045-945-8800

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日

平成28年2月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年5月期第2四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	27,879	6.0	4,993	54.5	5,199	31.2	3,321	11.6
27年5月期第2四半期	26,305	8.4	3,231	48.3	3,964	69.5	2,976	97.4

(注) 包括利益 28年5月期第2四半期 2,670百万円 (△41.3%) 27年5月期第2四半期 4,550百万円 (71.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第2四半期	73.81	—
27年5月期第2四半期	66.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第2四半期	109,028		89,465			81.9
27年5月期	105,313		87,410			82.9

(参考) 自己資本 28年5月期第2四半期 89,333百万円 27年5月期 87,280百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	10.00	—	13.00	23.00
28年5月期	—	10.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,600	3.3	6,000	25.5	6,400	10.2	4,200	9.9	93.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

((注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年5月期2Q	48,410,750 株	27年5月期	48,410,750 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年5月期2Q	3,407,257 株	27年5月期	3,406,242 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期2Q	45,004,117 株	27年5月期2Q	45,006,105 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関するレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際に業績は今後様々な要因によって予測数値に異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
28年5月期 第2四半期	27,879	4,993	5,199	3,321	73.81
27年5月期 第2四半期	26,305	3,231	3,964	2,976	66.13
前年同期比	1,573	1,761	1,235	345	7.68
増減率	6.0%	54.5%	31.2%	11.6%	—

当第2四半期連結累計期間（平成27年6月1日から平成27年11月30日まで）における世界経済は、米国は個人消費、住宅投資などの改善により、底堅く景気は拡大しておりますが、12月に入って実施されたゼロ金利解除が世界経済に及ぼす影響が大きく懸念されております。欧州経済においては、ギリシャ情勢がひとまず沈静化したものの、パリ同時多発テロによる消費者マインドの悪化や、テロ・移民問題などに端を発した政治不安定化のリスクなど、先行きの不透明感が高まっております。新興国経済は、インドでは緩やかな景気回復がみられますが、中国経済は減速傾向にあり、ブラジルにおいてもマイナス成長が続いております。わが国経済は、個人消費の回復や先進国向けの輸出の持ち直しなどにより、実質GDP成長率はプラスに転じ、緩やかな景気回復状況にあると考えられます。

当種苗業界は、国内需要は頭打ちの状態となっておりますが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社グループにおいては、国内卸売事業は苗木が好調に推移したものの、野菜種子、花種子、資材の売上が落ち込み、前年同期比減収となりました。海外卸売事業は野菜種子、花種子の売上が好調だったことから、前年同期比増収となりました。小売事業は、不採算商品の取引削減や、通信販売部門の会費収入の減少などにより前年同期比減収となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は278億79百万円（前年同期比15億73百万円、6.0%増）となりました。営業利益は、野菜、花種子売上の増加による売上総利益の改善が貢献し、49億93百万円（前年同期比17億61百万円、54.5%増）となりました。経常利益につきましては、今期為替差損が83百万円発生（前年同期は為替差益4億4百万円計上）したことにより、51億99百万円（前年同期比12億35百万円、31.2%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は子会社における税金費用の増加があったことなどから、33億21百万円（前年同期比3億45百万円、11.6%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替レートは、次のとおりです。なお第1四半期の連結対象期間は4-6月、第2四半期の連結対象期間は7-9月です。

	当第1四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
米ドル	122.48円 (101.30円)	119.97円 (109.45円)
ユーロ	137.20円 (138.21円)	134.94円 (138.85円)

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

## ①国内卸売事業

国内卸売事業は、苗木の売上が順調に伸びたものの、野菜種子、花種子、資材が減収となったため、前年同期比減収となりました。野菜種子はブロッコリーなどが好調に推移しましたが、ニンジンの売上が大きく落ち込んだことなどから、前年同期比減収となりました。花種子についても、前期に市況低迷のために作付減少となったバンジーなどの売上が伸び悩み、前年同期比減収となりました。資材は前期の農業用ハウスの雪害による復興特需の反動減から、前年同期比減収となりましたが、収益性の高い高機能液肥などの売上が増加したことなどから、営業利益は前年同期比増益となりました。苗木につきましては、トマト苗の売上が大きく伸びた結果、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比185百万円（同2.3%）減の78億69百万円となりましたが、営業利益は同比4百万円（同0.2%）増の30億21百万円となりました。

## ②海外卸売事業

それぞれの地域別の状況をみますと、アジア向け輸出は、ニンジン、ブロッコリー、トルコギキョウなどが大きく伸びたことから前年同期比大幅な増収となりました。北米、欧州においても、野菜種子、花種子ともに順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。南米では、ブロッコリー、カボチャなどの野菜種子が売上を伸ばし、現地通貨ベースでは増収となったものの、為替変動の影響により、円ベースでは前年同期比減収となりました。

品目別では、野菜種子はニンジン、ブロッコリー、ピーズなどが売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。花種子につきましては、アジア向けのトルコギキョウや、ヒマワリ、ケイトウの売上が伸びたことなどから、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比19億23百万円（同13.7%）増の160億1百万円となり、営業利益は、同比21億1百万円（同52.9%）増の60億71百万円になりました。

## ③小売事業

ホームガーデン分野は、前期から引き続き不採算商品の削減に取り組んだ結果、売上高は前年同期比減収となりました。業務コストなどの経費圧縮は着実に進みましたが、売上減による利益の減少をカバーするまでに至らず、利益面では前年同期比減益となりました。

通信販売分野では、上期は、平成28年1月にリニューアルするサカタ友の会の新制度への会員切り替え過渡期にあたり会費収入が減少したため、前年同期比減収となりました。

ガーデンセンターでは、第1四半期は猛暑の影響により屋外植物の販売に苦戦を強いられましたが、秋の園芸シーズンは好天に恵まれ、さまざまな販売促進イベントを実施した結果、店頭販売、インターネット販売ともに好調に推移し、売上高は前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比1億44百万円（同3.6%）減の38億35百万円となり、営業損失は、3億79百万円（前年同期は3億40百万円の営業損失）となりました。

## ④その他事業

造園緑花分野は、予定していた大型公共工事の竣工が設計・工期変更により、第3四半期に後ろ倒しになったため、前年同期比減収となりました。この結果、売上高は、前年同期比20百万円（同10.4%）減の1億72百万円となり、営業損失は54百万円（前年同期は46百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減
総資産（百万円）	105,313	109,028	3,714
純資産（百万円）	87,410	89,465	2,055
自己資本比率（%）	82.9%	81.9%	—
1株当たり純資産（円）	1,939.37	1,985.03	45.66
借入金の残高（百万円）	3,778	5,151	1,372

## ①資産の部

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ37億14百万円増加し、1,090億28百万円となりました。これは現金及び預金が39億71百万円、たな卸資産が19億41百万円、その他流動資産が8億72百万円、投資有価証券が5億71百万円増加し、受取手形及び売掛金が37億8百万円減少したことなどによるものです。

## ②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ16億58百万円増加し、195億62百万円となりました。これは、長短借入金が13億72百万円、未払法人税等が4億63百万円、その他流動負債が4億35百万円、長期繰延税金負債が4億24百万円増加し、支払手形及び買掛金が7億87百万円減少したことなどによるものです。

## ③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20億55百万円増加し、894億65百万円となりました。これは利益剰余金が27億36百万円、その他有価証券評価差額金が4億46百万円増加し、為替換算調整勘定が10億90百万円減少したことなどによるものです。

## (連結キャッシュ・フローの状況)

	第2四半期累計期間		増減 (百万円)
	27年5月期 (百万円)	28年5月期 (百万円)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,440	4,686	△754
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,207	△2,092	△884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△675	701	1,376

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ31億9百万円増加し、137億48百万円（前第2四半期連結会計期間末に比べ9億3百万円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## ①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は46億86百万円（前年同期は得られた資金54億40百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益51億65百万円、減価償却費9億16百万円、売上債権の減少による資金の増加37億77百万円、たな卸資産の増加による資金の減少23億81百万円、仕入債務の減少による資金の減少9億54百万円、法人税等の支払いによる資金の減少11億71百万円などによるものです。

## ②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用した資金は20億92百万円（前年同期は使用した資金12億7百万円）となりました。これは主に、定期預金の純増による支出9億1百万円、有形固定資産の取得による支出11億62百万円などによるものです。

## ③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって得られた資金は7億1百万円（前年同期は使用した資金6億75百万円）となりました。これは主に、短期借入金の純増による収入13億76百万円、配当金の支払額5億85百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

海外卸売事業では、下期は南米での売上が為替の影響により大きく減収となる見込みですが、その他の地域におきましては、概ね予想通りに推移すると予想しております。

国内卸売事業については、下期は野菜種子、苗木、資材などが予想に比べて減収を見込んでおります。

また小売事業では、新しい通販制度への会員増加ペースが鈍いことや、ホームガーデン分野の売上が予想に比べ弱含みで推移する見込みであることから、予想比減収となると予想しております。

これらの結果、通期の業績予想につきましては、平成27年10月9日に公表しました連結業績予想通り売上高586億円、営業利益60億円、経常利益64億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円となる見込みであります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## （企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が29百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微なため、記載を省略しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,212	21,184
受取手形及び売掛金	15,653	11,944
有価証券	100	150
商品及び製品	21,934	23,808
仕掛品	2,080	2,009
原材料及び貯蔵品	2,173	1,961
未成工事支出金	59	409
繰延税金資産	2,062	2,042
その他	1,924	2,797
貸倒引当金	△476	△477
流動資産合計	62,724	65,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,645	28,504
減価償却累計額	△18,390	△18,603
建物及び構築物(純額)	10,254	9,900
機械装置及び運搬具	11,517	11,657
減価償却累計額	△9,091	△9,153
機械装置及び運搬具(純額)	2,426	2,503
土地	13,788	13,777
建設仮勘定	383	886
その他	3,079	3,057
減価償却累計額	△2,492	△2,527
その他(純額)	586	529
有形固定資産合計	27,439	27,597
無形固定資産		
819		716
投資その他の資産		
投資有価証券	13,589	14,161
長期貸付金	111	95
繰延税金資産	116	76
その他	658	695
貸倒引当金	△145	△145
投資その他の資産合計	14,329	14,883
固定資産合計	42,589	43,197
資産合計	105,313	109,028



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,763	2,975
短期借入金	1,661	3,069
未払法人税等	995	1,458
その他	3,842	4,277
流動負債合計	10,262	11,781
固定負債		
長期借入金	2,117	2,082
繰延税金負債	1,824	2,248
退職給付に係る負債	2,317	2,311
役員退職慰労引当金	588	378
その他	793	760
固定負債合計	7,641	7,780
負債合計	17,903	19,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,793
利益剰余金	62,799	65,536
自己株式	△4,473	△4,475
株主資本合計	82,649	85,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,066	5,512
為替換算調整勘定	△493	△1,584
退職給付に係る調整累計額	58	50
その他の包括利益累計額合計	4,630	3,978
非支配株主持分	129	132
純資産合計	87,410	89,465
負債純資産合計	105,313	109,028

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
売上高	26,305	27,879
売上原価	11,643	11,172
売上総利益	14,662	16,706
販売費及び一般管理費	11,431	11,713
営業利益	3,231	4,993
営業外収益		
受取利息	73	62
受取配当金	148	156
受取賃貸料	100	106
負ののれん償却額	0	—
為替差益	404	—
その他	68	72
営業外収益合計	796	398
営業外費用		
支払利息	32	40
為替差損	—	83
その他	31	67
営業外費用合計	63	191
経常利益	3,964	5,199
特別利益		
固定資産売却益	265	—
投資有価証券売却益	71	—
特別利益合計	336	—
特別損失		
減損損失	14	33
特別損失合計	14	33
税金等調整前四半期純利益	4,287	5,165
法人税、住民税及び事業税	1,196	1,561
法人税等調整額	101	269
法人税等合計	1,298	1,830
四半期純利益	2,988	3,334
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,976	3,321

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
四半期純利益	2,988	3,334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	964	446
為替換算調整勘定	594	△1,102
退職給付に係る調整額	2	△7
その他の包括利益合計	1,562	△663
四半期包括利益	4,550	2,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,539	2,669
非支配株主に係る四半期包括利益	11	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,287	5,165
減価償却費	910	916
負ののれん償却額	△0	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	65	△3
受取利息及び受取配当金	△222	△219
支払利息	32	40
為替差損益(△は益)	△43	10
減損損失	14	33
投資有価証券売却損益(△は益)	△71	-
売上債権の増減額(△は増加)	2,416	3,777
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,266	△2,381
仕入債務の増減額(△は減少)	621	△954
未払金の増減額(△は減少)	△627	△103
その他	791	△617
小計	5,908	5,665
利息及び配当金の受取額	215	217
利息の支払額	△34	△44
法人税等の還付額	42	19
法人税等の支払額	△691	△1,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,440	4,686
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,641	△2,705
定期預金の払戻による収入	938	1,803
有形固定資産の取得による支出	△1,032	△1,162
有形固定資産の売却による収入	347	68
無形固定資産の取得による支出	△61	△51
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	239	-
その他	3	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,207	△2,092
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△208	1,376
長期借入れによる収入	12	2
自己株式の取得による支出	△1	△2
配当金の支払額	△452	△585
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△36
その他	△25	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△675	701
現金及び現金同等物に係る換算差額	124	△185
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,681	3,109
現金及び現金同等物の期首残高	9,162	10,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,844	13,748

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成26年6月1日 至 平成26年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	8,055	14,078	3,979	26,113	192	26,305	-	26,305
セグメント間の内部売上高 又は振替高	416	968	0	1,384	33	1,418	△1,418	-
計	8,471	15,046	3,979	27,497	226	27,724	△1,418	26,305
セグメント利益又は損失(△)	3,016	3,970	△340	6,646	△46	6,600	△3,369	3,231

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,369百万円は、セグメント間取引消去27百万円、棚卸資産の調整額9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,405百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいので記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成27年6月1日 至 平成27年11月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,869	16,001	3,835	27,707	172	27,879	-	27,879
セグメント間の内部売上高 又は振替高	413	1,564	0	1,978	20	1,998	△1,998	-
計	8,283	17,566	3,835	29,685	192	29,878	△1,998	27,879
セグメント利益又は損失(△)	3,021	6,071	△379	8,714	△54	8,659	△3,666	4,993

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,666百万円は、セグメント間取引消去△244百万円、棚卸資産の調整額147百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,569百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいので記載を省略しております。